

「第2期でなんと小林 総合戦略」実現！雇用対策

～ 小林市と宮崎労働局との雇用対策協定に基づく4つの施策 ～



小林市観光イメージキャラクター
「こすも～」



令和2年2月10日

令和6年4月1日一部改訂



小林市・宮崎労働局



雇用対策協定の背景

小林市では「てなんど小林総合戦略」において、若年層の流出と戻りの弱さに着目し、各種意向調査等から「若い世代が希望する仕事を創る」ことを総合戦略の最優先の取組として捉え、「若い世代の雇用（「しごと」）の創出から「ひと」を呼び込み、「まち」の活性化を図り、まち・ひと・しごと創生の好循環を進める」ことを目指してまちづくりを推進している。

このようなまちづくりを進める上で、雇用対策が重要な柱の一つであると捉え、小林市、宮崎労働局及び小林公共職業安定所双方の力を結集し連携を強化するため、平成29年2月10日に「小林市と宮崎労働局との雇用対策協定」を締結。

雇用対策協定締結の意義

協定締結により、この地域において一体的に雇用・労働施策を展開することが可能となる。双方の力を結集することにより、まち・ひと・しごと創生の好循環を雇用・労働施策の側面から強く後押しすることができる。

雇用対策協定に基づく施策

雇用対策協定に基づき連携して実施する雇用施策を、『「てなんど小林 総合戦略」実現！雇用対策』（雇用対策協定に基づく実施計画）としてとりまとめ、実行。

令和2年度より『「第2期てなんど小林 総合戦略」実現！雇用対策』（雇用対策協定に基づく実施計画）と改訂し実行。

小林市

- ・小林市の地方創生に向けた基本目標
- ・多様な連携
- ・住み良さの向上
- ・若年層の地元定着の促進
- ・転出者の将来的なUターン促進
- ・生産性の向上、人材育成・確保



労働局・ハローワーク

- ・雇用・労働に関する各種データ提供
- ・ハローワークの現場での専門的なサービス
- ・全国ネットワークを活かした就職支援、情報発信 等



「第2期てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策

- ・雇用面での課題、目標を共有
- ・小林市ならではの視点を組み込んだ
地域密着型の雇用施策の実施
- ・市の様々な行政分野の支援に
雇用施策を融合
- ・情報発信力の強化 等

第1期でなんと小林総合戦略

基本方針：

若年層の流出と戻りの弱さに着目し、各種意向調査等から「若い世代が希望する仕事を創る」ことを総合戦略の最優先の取組として捉え、「若い世代の雇用（「しごと」）の創出から「ひと」を呼び込み、「まち」の活性化を図り、まち・ひと・しごと創生の好循環を進める」ことを目指してまちづくりを推進する。

4つの基本目標

- 1.小林に安定した雇用を創る
- 2.小林に新しい人の流れを創る
- 3.小林に住む若い世代の希望をかなえる
- 4.時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

雇用対策協定に関連するKPI

- ・小林所管内の新規高校卒業者のハローワーク小林管内就職割合
H27：36.4% ⇒ H31：50%
 - ・誘致企業における新規雇用者数
200人（累計）H27～H31
 - ・仕事と生活の両立応援宣言事業所数
200事業所 H31末
 - ・移住世帯数
460世帯 H31累計
- 【関連指標】
- ・こばやしファン・サポーターズCLUBの会員数
10,000人 H31（年度末累計）



第2期でなんと小林総合戦略

基本的考え方：

第1期戦略における考え方や取組を基本的に維持しつつ、必要な見直しを行い、地方創生に向けた取組のさらなる充実・強化を図る。

基本方針：

年少人口や生産年齢人口の一層の減少が見込まれていることから、『人口減少の緩和』と『人口減少への対応』の2点を柱として戦略の推進を図る。

3つの基本目標

- 1.希望する人が安心して子どもを
生み育てられる環境をつくる
- 2.転入・転出による人の流れを変える
- 3.住み続けたいと思うまちをつくる

雇用対策協定に関連するKPI

- ・小林公共職業安定所管内の新規高卒者に占める所管内就職率
40%以上（R7.3月卒）
- ・誘致企業の新規雇用者数
100人（R2～R6年度累計）
- ・「仕事と生活の両立応援宣言」を行う事業所数
100事業所（R6年度累計）
- ・市の施策を通じて移住した世帯数
（～R4年度）30世帯以上/年度
（R5年度～）35世帯以上/年度
- ・本市に関わりを持つ人の数（ふるさと納税寄付者、ファン・サポ会員、SNSフォロー数）
86,500人（R6年度末）
- ・この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる保護者の割合
90%以上を維持（R6年度）



＜施策1＞

若い世代の「働く」応援プロジェクト

(若者が**知**る支援、若者の**採**用支援、**定**着支援)

＜趣旨＞

- 希望する職種や労働条件とのミスマッチなども、若年層等の域外への転出を引き起こす要因と成り得るという課題がある。
- 総合戦略の最優先施策として掲げられている「若い世代が希望する仕事を創る」を実現していくため、各種取組を更に連携・推進していく必要がある。
- 高校生の「地元に住みたいが難しい」「住みたくない」の最大の理由である「希望する仕事がない」を解消するため、企業の若者採用の動きを促進し、また企業を知る機会を積極的につくり、就職・定着に向けた支援を強化していく。

＜成果目標(KPI)・関連指標＞

○成果目標 (KPI)

- ・小林公共職業安定所管内の新規高卒者に占める所管内就職率
40%以上 (R7.3月卒)

○関連指標

- ・企業ガイダンス及び応募前ジュニアワークフェアの来場者数
(管内高校生参加者数)
- ・ハローワーク小林就職支援ナビゲーターの支援者数
- ・ユースエール認定企業数

＜実施する取組＞

○若年者への支援

(連携)

- ・**知** 地元企業ガイダンスの開催（学生や保護者等が地元企業の魅力について知り、考える機会を提供）
- ・**採** 若年者のニーズに応じた就労場所の確保・誘致
- ・**採** 就職活動時期にあった求人票の提出要請及び求人開拓、新卒採用計画等調査（ハローワークと市が共に管内事業所を訪問）
- ・**定** ユースエール認定企業の取組推進
- ・**知・定** 小林市キャリア教育支援センターと連携した学校教育の推進及び地元企業の魅力発信（職場体験学習、こすもす科、こばやし近未来ひとづくり協議会）

(市)

- ・**知** 産学官交流会の開催（学校の進路指導担当者と企業の採用担当者との意見交換&情報共有の場としての位置付け）
- ・**定** 県南若者サポートステーションの利活用周知

(局・HW)

- ・**知** 地元高校生等に対する職業講話の実施
- ・**定** 就職支援ナビゲーターによる新規学卒者に対する個別支援（就職支援、定着支援）

《施策2》

魅力あるふるさと企業(起業)躍進プロジェクト

(人材確保支援、企業力向上支援、
魅力向上(発信)支援、立地支援)

《趣旨》

- 地域を支える地元企業の人材確保のため、企業内での人材育成の充実や仕事と生活の両立支援等の雇用管理改善の推進も含めた、魅力ある職場づくりへの支援を強化していく必要がある。
- 有効求人倍率が高い小林地域における人材不足を解消すべく、求人充足支援を推進し、企業の安定・成長を図る必要がある。
- 地元企業の更なる躍進に向け、各種支援事業や認定制度の周知を図るほか、地元企業の魅力発信や人材確保支援に積極的に取り組んでいく。
- 市民にとって魅力的で安定した「働く場」を創出すべく、新規創業者への支援を実施するとともに、雇用吸収力のある企業の誘致を推進する。

《成果目標(KPI)・関連指標》

○成果目標 (KPI)

- ・誘致企業における新規雇用数
100人 (R2からR6年度累計)
- ・仕事と生活の両立応援宣言事業所数
100事業所 (R6年度末累計)

○関連指標

- ・くるみん、プラチナくるみん認定企業数
- ・ハローワーク小林的紹介による就職者数
- ・面接会への参加企業数
- ・ユースエール認定企業数【再掲】

《実施する取組》

○地元企業支援・強化

(連携)	確	人手不足分野の面接会、資格相談の実施(ハローワークによる介護分野の職業相談、資格相談)
	魅	くるみん、プラチナくるみん認定制度の周知、啓発による子育てサポート企業の拡大推進
	魅	ポジティブアクション、仕事と生活の両立応援宣言等の普及促進
	魅	ユースエール認定企業の取組推進【再掲】
	魅	HP等を活用した、各種宣言・認定企業の情報発信
(市)	確	産学官交流会の開催【再掲】 (学校の進路指導担当者との意見交換・情報共有の場としての位置付け)
	確	積極的な求人情報の発信(人材不足分野等)
	力	ビジネス支援センターによるワンストップ相談、経営サポート等の実施
	力	退職金共済加入促進補助、中小企業大学校受講補助による企業力向上支援(周知等)
	確	地元企業へ応募したくなる求人作成方法等の情報提供
(局・HW)	確	潜在求職者の掘り起こし
	確	人材不足分野に特化した求人情報の作成及びナースセンター等関係機関との連携
	確・力	医療・福祉・介護等の人材不足分野の事業主に対する雇用管理改善指導
	力	雇用関係助成金制度、両立支援等助成金制度等の案内(各種制度内容)
	力	

○企業立地・創業支援の推進

(連携)	立	企業誘致においての意見交換会の開催 (誘致企業の現地視察の際に人材確保に向けた意見交換会を実施)
	立・確	人材確保対策(面接会等)の実施
(市)	立	企業誘致のための環境整備(土地、税制優遇措置等)及び各分野においての情報収集
	立	求職者ニーズに沿った企業誘致の推進
	立	ビジネス支援センターによる創業・第二創業相談、経営サポート等の実施、空店舗活用新規創業者支援事業費補助、創業支援融資利子補給補助等創業支援事業の実施
	立	労働市場情報等の統計資料の提供
(局・HW)	立	
	立・確	誘致企業の求人充足支援(求人情報をハローワーク内に掲示)
	立・力	雇用関係助成金制度の案内(各種制度内容)【再掲】

「施策3」

小林へのUターン推進・応援プロジェクト

(情報発信、移住希望者支援、
Uターン支援、郷土愛醸成支援)

「趣旨」

- 域外からの呼び込む力の向上を図るためには、地域イメージの確立とともに、市内外の人に向けその魅力を発信し、伝えていく事が重要。
- 都市圏から地方への移住ニーズを敏感に捉え、移住から定住までをサポートすることで移住しやすい環境の整備を図り、総合的な支援の充実を目指す。
- 市外転出者に対して、Uターンを促す取組を推進する。
- 将来を担う若者が郷土への愛や誇りを持って豊かに育つよう連携した取組を推進していく。

「成果目標(KPI)・関連指標」

○成果目標 (KPI)

- ・市の施策を通じて移住した世帯数
(～R4年度) 30世帯以上/年度
(R5年度～) 35世帯以上/年度
- ・本市に関わりを持つ人の数 (ふるさと納税寄付者、ファン・サポ会員、SNSフォロワー数)
86,500人 (R6年度末)

○関連指標

- ・Uターン歓迎求人の提出求人件数
- ・移住相談会の相談者数

「実施する取組」

○移住・定住支援

(連携)

- 情・希** 市が参加する都市部での移住相談会 (年5～6回) でのハローワークの求人情報の紹介
- 希・U** 移住相談等でのニーズを基にしたUIJ受け入れ歓迎求人開拓の実施 (ハローワークと市が共に管内事業所を訪問)
- 情・U** 帰省時期に合わせた求人情報の提供 (公共施設、店舗、市広報等)
- 情・U** 宮崎ひなた暮らしUIJセンターの実施するふるさと宮崎人材バンクの利活用周知

(市)

- 希** ビジネス支援センターによる創業・第二創業相談、経営サポート等の実施、空店舗活用新規創業者支援事業費補助、創業支援融資利子補給補助等の創業支援事業の実施【再掲】
- 希** お試し滞在施設 (紙屋地区)、空き家バンクの活用による移住支援の周知
- 情** シティプロモーションによる積極的な情報発信 (まちの魅力と就職情報)
- 郷** 小学5、6年生及び中学生を対象とした職業体験、将来の夢探し事業 (グローバルキッズ事業) の実施 (企業紹介、職業講話など)

(局・HW)

- 情・希・U** 求人票に「こばやしUIJターン歓迎求人」を表示し、全国に情報発信

「施策4」

オール小林でつくるまちプロジェクト

(女性、子育て世帯、生活困窮者、障がい者、高齢者等への支援)

「趣旨」

- 本市の合計特殊出生率は、全国や県平均に比べ高い水準だが、社会減による出生可能年齢人口の減少等の影響もあって出生数自体は減少が続き、人口減少に歯止めがかからない状況になっている。
- 持続可能なまちづくりを推進するため、協働のまちづくりを基盤とした、官民一体となった「オール小林」での展開が重要。
- 女性、子育て世帯、生活困窮者、障がい者、高齢者などあらゆる人々が、その人一人ひとりの能力・魅力を最大限に活かし、活躍できる環境（基盤）づくりを目指す。

「成果目標(KPI)・関連指標」

○成果目標（KPI）

- ・仕事と生活の両立応援宣言事業所数
100事業所（R6年度末累計）【再掲】
- ・この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる保護者の割合
90%以上を維持（R6年度）

○関連指標

- ・くるみん、プラチナくるみん認定企業数【再掲】
- ・ハローワーク小林管内の生活保護受給者等の就職件数

「実施する取組」

○オール小林活躍支援

(連携)

- オ** 求人開拓の実施（ハローワークと市が共に管内事業所を訪問）
- 子** くるみん認定、プラチナくるみん認定制度の周知・啓発による「子育てサポート企業」の拡大推進【再掲】
- 女・子** ポジティブアクション、仕事と生活の両立応援宣言等の普及促進【再掲】
- 子** 保育所関係の情報提供
- 子** 子育て世帯の雇用に伴う就労環境の整備
- 子** ひとり親家庭への各種支援事業の実施（求人に関する情報収集）
- 生** 被保護者に対する就労支援の実施（ケースワーカーと生活保護就労支援員の連携強化）
- 生** 小林市生活自立相談支援センターとの連携（センターの周知及びアウトリーチの強化）
- 障** 小林市障がい者自立支援協議会における連携強化（小林市事務局、HW委員）
- 障** 障がい者雇用に関し法定雇用率達成に向けた呼びかけを実施

(市)

- オ** 広報誌やホームページでの情報発信（各種支援事業、法令等の周知）
- 高** シルバー人材センターの活用促進（高齢者の活躍）
- オ** 外国人の安定した就業環境の支援

(局・HW)

- 女・子** 妊娠、出産、育児休業等を理由とする不利益取扱いに対する指導

取組施策

【施策 1】

若い世代の「働く」応援
プロジェクト



- ・企業説明会、
面接会等の開催
- ・管内事業所訪問
- ・こばやし近未来ひとづくり
協議会との連携

【施策 2】

魅力あるふるさと企業
(起業) 躍進プロジェクト



- ・小林市企業情報誌の作成
(HWサイトとの情報連携)
- ・立地企業への
フォローアップ

【施策 3】

小林へのU I J ターン
推進・応援プロジェクト



- ・都市部で開催する移住
相談会への共同参加
- ・UIJターン後の
フォローアップ
- ・ふるさと宮崎人材バンク
の利活用周知

【施策 4】

オール小林でつくるまち
プロジェクト



- ・保育所関係の情報共有
- ・子育て世帯の雇用に伴う
就労環境の整備
- ・女性の活躍の場の確保
- ・障害者就職説明会の開催